



## スポーツの秋に思う

校長 久保村 裕

今週になり、猛暑からやっと秋らしいさわやかな日が続くようになってきました。私は夏が大好きなので、毎年秋らしい日がやってくると、去り行く夏に対する寂しさをいつも感じていました。しかし、今年は違って、やっと秋がきたという安堵の気持ちでいっぱいです。

今月は、厳しい暑さの中で、中学校の高岡地区新人大会が行われ、本校からは、野球、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、柔道の5つの競技に生徒が出場しました。男子ソフトテニス部が団体2位、男子柔道では個人2位というすばらしい結果を収めました。勝っても負けても一生懸命競技していた選手の皆さんの健闘を心から讃えたいと思います。

今回、私はソフトテニス競技をはじめ、いくつかの競技の応援にまわりました。補欠選手、応援の生徒、先生、コーチ、保護者が一緒になって応援している姿をあちこちで見ることができました。選手を支え、応援している人がたくさんいることに、本校のすばらしさを感じました。男子ソフトテニス部と男子柔道個人は、引き続き10月に行われる県選抜大会に出場します。本校生徒としてのプライドをもって県選抜大会でも活躍を期待したいと思います。

また、明日9月30日（土）、富山県総合運動公園で県中学校駅伝大会が行われます。出場する選手の皆さんは、夏の暑い日も、大会に向けて、朝や放課後の時間、黙々と走ってきました。「継続は力なり」という言葉がありますが、地道に毎日走ってきた皆さんの努力は、必ず当日のレースに成果となって現れると信じています。当日、苦しい場面がたくさんあると思いますが、頑張ってきた練習のこと、一緒に練習をしてきた友達のこと、練習を支えてくれた先生や家族のことを思い出して、全力で走りぬいてください。そこで選手の皆さんに、はなむけの言葉として、二つのことを話したいと思います。

### 1つめは、記録への挑戦です。

簡単なことではありませんが、皆さんには、チームの記録更新と一人一人の自己ベストの更新と二つの挑戦があります。他人のペースに巻き込まれないように、自分のペースをしっかりと守って、苦しくても、プレッシャーに負けないように走ってください。

### 2つめは、チームワークです。

駅伝は、野球、バレー、ラグビーと同じ団体競技です。一人で競技するのではなく、一人一人がたすきという絆をつないで走るチームワークの団体競技です。一人一人が、チーム全体のことを考えることにより、チームワークが向上します。具体的には、

- ① 何事もポジティブ（積極的に）に考える。
- ② お互いを思いやりサポートする。
- ③ 困難な状況でもあきらめず、他のメンバーを励ます。
- ④ 自分の役割をしっかりと果たす。
- ⑤ 明るく楽しいコミュニケーションを心がける。

チームワークが高まれば、お互いを信じることができ、一人一人の思いを一本のたすきが絆となって、心をつなぐに競技をすることができ、本校の駅伝チームは、きっとできると信じています。一本のたすきに、駅伝チームの記録の挑戦とチームワークの向上を大会では見たいと思っています。

